

# 交 流 通 信

このコーナーでは、国内外に3つずつある田原市の姉妹・友好都市の情報をお届けします。

企画課 ☎ 2 3 局 3 5 0 7

## 昆山市から来た看護師さん 研修中！

日本の看護技術を学ぼうと、友好都市・昆山市から田原市を訪れている看護師の邵 春英さんと蔡 嵐さん。現在、渥美病院で研修を受けている2人にお話を伺いました。



田原に来て和食が好きになったと話す邵さん(右)と蔡さん(左)。9月29日まで田原市に滞在しています。

### 田原市の印象

山も海もあってきれいなまち。静かでもとてもよいところだと思いました。また、住んでいる人たちも皆さん親切で安心しました。

### 中国の看護師と日本の看護師の違い

日本では医者が行っている専門的なことも、中国では看護師が行うことがあります。ただ、身の回りの世話や介護などといった部分は、日本の方がかなり多いです。そのためか、日本では、看護師と患者とのつながりを強く感じます。

### 現在までの研修の成果

言葉の問題などで苦勞もありますが、日々充実しています。とくに外来患者の受付システムは参考になります。残りの研修期間は、文化や言葉なども勉強し、帰国してからの仕事に役立てたいです。

第17回 共に考え共に歩もう

## 男女共同 参画社会へ

企画課 23局3507

〜シリーズ〜  
自分に合った仕事、選べますか？

シリーズ第3弾は、田原市で2人目の男性保育士となった、香ノ木翔さんをご紹介します。

Q 保育士になろうと思ったきっかけは？

中学生のとき、職場体験学習で保育園へ行き、子どもたちといて楽しかったのがきっかけです。

Q 以前は保母さんと呼ばれ女性の仕事という印象が強かった保育士。実際に働いてみてどうですか？

女性保育士のまねはできないと思います。子育ての視点を持っていたり、細やかな言葉かけや気遣いができたりするのは女性の特徴だと思います。でも、保育士が女性の仕事だとは思いません。たとえば、外でドッ

ジボールをするとしたら、男性に得意な人が多いと思います。女性と男性の保育士がそれぞれ個性を活かして、役割を果たせたらよいですね。

Q 女性が多い職場ですが、苦勞することはありますか？

女性ばかりなので、同僚や友達として、悩みや想いなどを話しづらいこともあります。

Q 保育士になりたい男性に一言。

なりたい人がいたらどんどんやってほしい。やりがいのある仕事です。子どもはとても素直で、「自分の心の鏡」のようです。プライベートな気持ちを持ち込めないののでつらいこともありますが、その分感動も大きい仕事です。

ありがとうございます。笑顔の素敵な香ノ木先生、これからもがんばってください。



香ノ木翔さん / 平成17年度に田原市の保育士に採用され、現在、第一保育園で活躍中です。